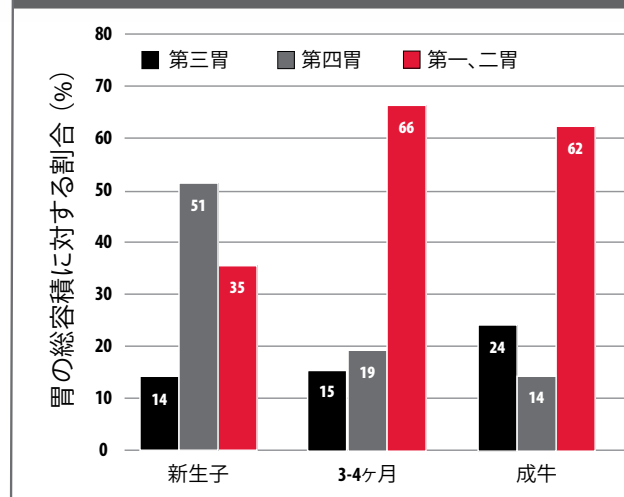




素晴らしいルーメンの発達

若い子牛の発達中のルーメンにいる有益な微生物群の数は、生後数週間の間にゼロから数十億まで変化する。繁殖した微生物コロニーは、初期のルーメンの発達に不可欠である。

子牛の胃の発達度



Church, D.C. 1993. The Ruminant Animal: Digestive Physiology and Nutrition. Pg 50. Waveland Press, Inc. Prospect Heights, IL.

より良いスタート 子牛と未経産牛に

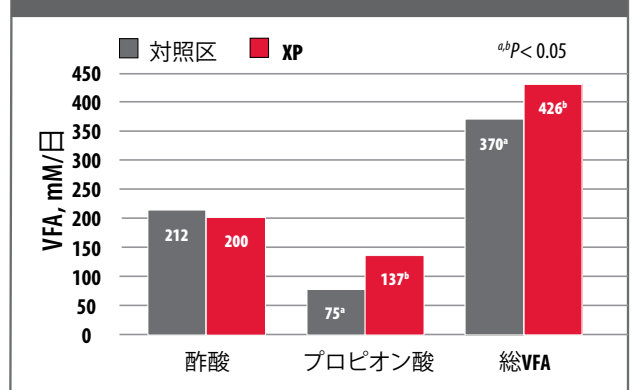
微生物群は、後に子牛の急成長を支える複合飼料の消化を助ける。XPはルーメンの微生物の豊富な栄養源となる。

ルーメンの発達に対するXPの効果

	絨毛	
	長さ (mm)	幅 (mm)
対照区	1.26	0.77
2% XP	1.58	0.88

Lesmeister et al. 2004. J. Dairy Sci. 87:1832-1839.

VFA (揮発性脂肪酸) の生産に対するXPの効果

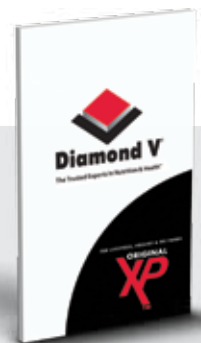


Miller-Webster et al. 2002. J. Dairy Sci. 85:2009-2014.

推奨給与量

離乳前の子牛	14 g/頭/日
離乳後の子牛	28 g/頭/日
子牛用グレインスターター	20 kg/トン
未経産牛	56 g/頭/日

Available in additional concentration: Original XPC™



特徴:

自然からの原料を使い、科学的研究に基づいてつくられたXPはルーメンの健康と効率にとって大切な栄養をもたらす。ルーメン機能が改善されれば、最大の能力を発揮する健康な牛がうまれる。

研究は、XPが以下をサポートすることを証明。:

- ルーメンの発達
- 成長と飼料効率
- スターター飼料の摂取
- 子牛の健康

 **Diamond V**
The Trusted Experts In Nutrition & Health™

子牛と未経産牛の栄養を最大に



遺伝的潜在能力を最大にする

専門家は、未経産のホルスタイン牛を分娩後22-24ヶ月に550kgに成長させるためには、以下のことをすべきだと認めている。

- 生後1時間以内に高品質な初乳を与え、12時間以内に再度与える。
- ルーメンの絨毛の成長を促進するため、スターター飼料の摂取を最大にする。
- スターター飼料の摂取を促進するため、いつも清潔で新鮮な水を与える。
- 2日連続でスターターの摂取量が1kg/日に達したら離乳する。
- 離乳から分娩までの間、平均増体量が0.82-0.91kgになるように栄養プログラムを調整する。
- 未経産牛が13-14ヶ月齢で363-385kgに達したら交配する。



ミルク、乾草、スターターグレイン飼料を与えた場合のルーメンの発達状態（8週）

Photographs courtesy of Penn State University



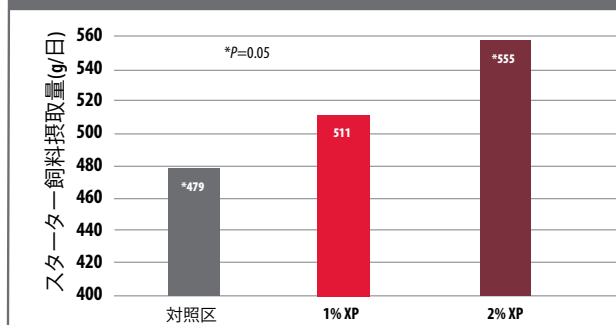
ミルク、スターターグレイン飼料を与えた場合のルーメンの発達状態（8週）

スターター飼料の摂取

ルーメンの順調な発達により、子牛は離乳時に乾燥飼料に移行し易くなる。

XPがスターター飼料の摂取を助けることによって、ストレスの多いこの時期の子牛を元気にすることが、この研究により示された。

離乳時のスターター飼料の摂取量に対するXPの効果（6週齢）



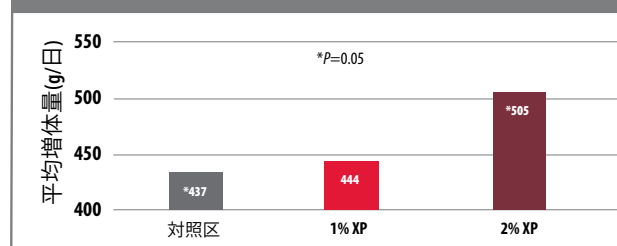
Lesmeister et al., 2004.

平均増体量

栄養摂取を改善すれば、成長率も改善される。

XPが初期成長段階の子牛の平均増体量（ADG）をサポートすることが、この研究により示された。

離乳時の平均増体量に対するXPの効果（6週齢）



Lesmeister et al., 2004.

子牛の健康

更新未経産牛の遺伝的潜在能力は多くの要因によって阻害される：スターター飼料への切替の遅れ、遅い離乳、一貫性のない栄養摂取、健康に障害のある場合、など。XPが子牛の健康を維持することによって、様々な困難を乗り越えることが、この研究により示された。子牛にとって困難な状況でも、XPを与えることによって病気治療の頻度を減少させ、発熱、下痢を減らし、全般的な疾病率、死亡率を減少させた。

子牛の健康に対するXPの効果¹

試験区	対照区	XP	p値
発熱, % ^a	41.6	34.1	0.08
下痢, % ^b	99.6	97.3	0.07
呼吸器系疾患, % ^c	14.0	13.7	0.92
死亡率, %	12.1	7.5	0.05

^a 直腸温 >39.5°C

^b 調査期間に最低2日間、水っぽい糞が存在したとき

^c 子牛の呼吸器系疾患と発熱の兆候

¹ Magalhaes et al., 2008. J. Dairy Sci. 91: 1497-1509.

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-7-1

フリーダイヤル 0120-03-7432 | www.nastokyo.co.jp

©2014 Diamond V Mills, Inc. All rights reserved.
Diamond V[®] is a registered trademark and
Original XP[™] and Original XPC[™] are trademarks of
Diamond V Mills, Inc.

Room A2, 25th Floor Thanapoom Tower | 1550 New Petchburi Road
Makkasan, Rattewi | Bangkok 10400, Thailand
Phone: +66 2652 6890 | FAX: +66 2652 6892
dvasia@diamondv.com | diamondv.com



DAIRY BEEF POULTRY SWINE EQUINE MULTI-SPECIES AQUA PET SPECIALTY

iSS_DA008_0514_jp